

科目名		画像診断学			授業の種類	講義	講師名	
授業回数	8回	時間数	15時間 (1単位)	配当学年・時期	作業療法士科2年		必修・選択	必修

【授業の目的・ねらい】

近年、臨床医療における画像情報の意義はますます大きくなっている。これらの中心を占める単純X線撮影やCT、MRを含めた画像情報の基本的特徴・成り立ちからその見方等を学ぶことで、画像と種々の疾患・病態との関連を理解する。

【授業全体の内容の概要】

単純X線像、CT・MR等の原理と画像構成法、装置の特徴とその基本画像の見方を講義する。

【講師の実務経験】

【授業終了時の達成課題(到達目標)】

臨床現場で各種画像情報の意義と特徴を理解し、活用できる知識を獲得する。

回数	講義内容
1	各種画像診断法の原理と特徴 主な画像診断検査法の原理と意義、特徴を理解する
2	画像診断のための基礎知識(1) 単純X線画像・CT画像
3	画像診断のための基礎知識(2) MRI画像etc
4	画像の見方(1) 脳血管
5	画像の見方(2) 脳表
6	画像の見方(3) 脳深部・脳槽
7	画像の見方(4) 脊柱
8	画像の見方(5) 上下肢・内臓
	定期筆記試験

【準備学習・時間外学習】

【使用テキスト】

書籍名	著者名	出版社
PT・OT基礎から学ぶ 画像の読み方	中島雅美・中島喜代彦・大島優慈	医歯薬出版株式会社

【単位認定の方法及び基準(試験やレポート評価基準など)】

筆記試験